

「エネルギー安全保障にむけた低炭素化対策に関する福井宣言」

(福井宣言) 要旨

- ▽より効率的なエネルギーの使用と二酸化炭素（CO₂）の排出が少ないクリーンなエネルギーの供給がエネルギー安全保障の促進、経済成長、排出削減を同時にもたらす。
- ▽化石燃料は引き続きAPEC域内で主要な役割を担い続ける。
- ▽石油供給の途絶に対応するため戦略的石油備蓄能力の強化などを実施。
- ▽「2030年までに05年比で25%向上」というAPECのエネルギー効率化目標は容易に達成される見込み。より野心的な目標の設定へ検討を指示。
- ▽再生可能エネルギーや原子力などCO₂排出量がゼロに近いエネルギー導入のため個別目標と行動計画を策定。
- ▽エネルギー源の多様化やCO₂排出削減で原発の活用が増加。原発によるCO₂削減の可能性の評価が必要。
- ▽原発の安全性確保や、核不拡散に関する国際的約束を原子力の平和利用の根幹と再確認。約束に沿った形で新規の原発建設を促進する。
- ▽APEC域内は石炭など化石燃料を使う火力発電に依存。CO₂発生を抑える石炭のクリーン技術の開発、普及に努力。
- ▽APEC域内で低炭素モデル都市プロジェクトを実施。

※参照：福井新聞